

大好き!志岐! 紹介「しまおこし人」

vol.4

芦辺町・久間英明さん(54)



「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ



頼まれてオレンジハウスで弾き語りをする久間さん

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ



毎年3、4回程度のライブ活動を続けている志岐を代表するロックバンド「ザ・アメリカ」のメンバーとして、オリジナル曲を中心に展開されるKUMAバンド(リードボーカル、ギター、ベース、キーボード、ドラム)の通常4人編成)の固定メンバーも多

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

「大好き!志岐!紹介「しまおこし人」」このコーナーは、「愛する志岐の島の島おこし」今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分であ

《詩》 へリオトロープ

初夏の風に乗って
へリオトロープの甘い香りが...
バナラ香といわれる香り
香水の原料にも
色も香りも絶妙
紫の小さい花がつく
とがった美しい形の濃緑色の葉
ドライフラワーにも
ヘリオトロープの
花言葉は「献身」
へリオトロープを愛していると
北原白秋の書いた
『夕暮れはへリオトロープ』が
おもいだされる
より添って咲くへリオトロープ
心 心がいやされる

井手美穂子

《俳句》 わかば俳句

早苗田の鏡に走る白い雲
夏市や鍛冶屋の鋏を買ふことに
青嵐孫の声とぶ反抗期
夏霧の阻む着陸離島便
熟年の色に咲きけり濃紫陽花
久しぶり町はなやかに夏の市
玄海に丸く治まる椎若葉

大島美代子 柳澤 幸子
品川 京子 高田 英子
滝 きみ子 坂野 幸子
野田 隆也

《投句》 東京 馬場喜代治

鳶舞って岬の波間に海女の笛
真二つに割られし海胆の棘のたう
べら釣りや波のたゆたふ磯伝ひ
梅壇の舟人の墓地へ花こぼす
麦の秋暮れて小島の星あかり
樟若葉鎮守の杜の風やはし
ふるさとを念(おも)ふ絆の大掃除
過ぐる日のツインビーチでの浜掃除の時の俳句です。
つづく

aburayamayu



~コラム~ 心の形(5)

文/松原 奏

さかな釣り 3
小学生の高学年にもなると、家から徒歩で2、3分で着くゴロタ岩の磯で釣りをするのが私の一番の楽しみでした。

私が釣りをした海。梅雨期には大きなモブスが釣れるゴロタ岩の浜

根掛かりをしても竿の根元に結び付けたヨマを引っ張ると竿先がオモリの所まで来るので、海中を竿の先端で突くと上手く外すことができた。今でもその方法が実に合理的で素晴らしいと思いつく事がある。
当時釣っていた魚と言えは、ホルタやクサビ(ペラ類)、アブラメ(アイナメ)、ヒヤッカシ(ギンポ)、アラカブ(カサゴ)。中でもモブスと言っていたカサゴに似た魚で、正確にはクロソイの大型が私の最大の獲物だった。周りもモブスと呼んでいたが、私は勝手に「藻のボス」という意味だと思っていた。今思えばボスは外来語なので違ったのだろうか。
当時は誰もが半ズボンで、それに農家の手伝いをする時の白長靴を履いて海まで駆けて行くこと、すくみナ(二ナ)やヤドカリが手に入り、小さな石で殻を割って針に付け、次々と岩から岩へ飛び移り、時に足を滑らせ尻もちを付き、服と白長靴は毎回水びたしになったものだ...



私が釣りをした海。梅雨期には大きなモブスが釣れるゴロタ岩の浜

大切なのは、一人ひとりが、新しい「緑」、美しい「青」にめざめること
6月は「環境月間」
現在の社会は、地球の自然・環境を資源として築かれています。その結果、森林は伐採され、石油など化石燃料の消費などによる温暖化がすすみ、海面上昇により沈みゆく島や土地、消えゆく命があるなかで、様々な資源、エネルギーをいまだに奪い合い、深刻な事態に陥っている現実が存在し、特に、東日本大震災の原発事故の発生で、原子力の見えない影響に疑心暗鬼となり、それまで良好だったコミュニケーションが奪われてしまう事態も発生しています。環境の日、環境月間を契機に、「未来の生命」について考え、「自然・生命の和、循環」に根差したそれぞれの場でできる行動、活動が強く望まれ、今この瞬間からも求められ、迫られています。